



こころの憂鬱、みこころ

こころの憂鬱、またあとで

大正時代

大正時代

大正時代

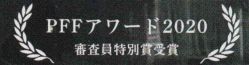
大正時代

脚本・監督／守田悠人

プロデューサー／佐藤形面 撮影・照明／田中丈尊 録音／五十嵐猛史 音楽／大村知也 編集／小本葉々香 助監督／佐藤形面・阿部友馬 特殊メイク／柳川夏子

勝手に測り、測られる「死にたさ」の度合い

お互いの痛みを擦り合わせようとする少女同士が
心と傷の手当てをし、支え合い、シスターフードロードムービー



都市に浮かび上がる不吉な塊の輪郭。その夥しい騒音は、悲鳴か産声か。

東京五輪に向け、新国立競技場の建設が進む2018年の東京。不登校気味の高校生・鳴海(せとらえと)はライブ配信を行うことにより、行き場の無さを埋めようとする。鳴海と同級生・いく(阿部百衣子)はいつも明るく振る舞う反面、形容しがたい憂鬱な気持ちを吐き出せずにいた。ある日いくは、梶井基次郎の『檸檬』のように自分の遺書を赤の他人の家に投函することで憂鬱を晴らそうとする。その遺書を受け取った者たちの間で、それぞれの「死にたさ」が錯綜する。



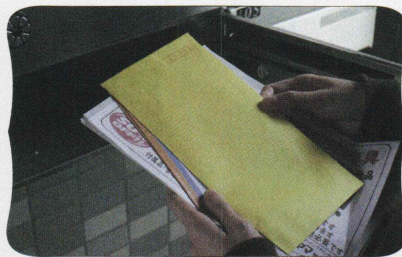
監督は、第28回新人シナリオコンクールにおいて『幸福なLINE』が佳作入選した守田悠人。初監督作品となった本作は映画監督の登竜門であるびあフィルムフェスティバルのPFFアワード2020で審査員特別賞を受賞した。PFFアワード2020では監督自身が編集した本編を上映したが、今上映は18歳の学生によって再編集された本編が上映される運びとなった。主人公たちにより近い年齢の視点を組み込んでいる。

阿部百衣子 せとらえと 鐘ヶ江佳太 山本華世子

大友久志 ナツメ 杉山宗賢 松本高士 東佳享
木内文香 佐藤考哲 石坂杏子 サナエマーガレット



2020/日本/カラー/16:9/ステレオ/108分 配給:アルミード ©KAMO FILMS



頭痛が痛い



zutsugaitai-movie.com [eiga_zutugaitai](https://twitter.com/eiga_zutugaitai) [zutsugaitai](https://facebook.com/zutsugaitai) [zutsu_movie](https://instagram.com/zutsu_movie)

6月3日(金)よりロードショー!

全国共通特別鑑賞券(1500円)劇場窓口にて発売中 ※舞台挨拶・トークイベントについては劇場HPをご確認ください

UPLINK 吉祥寺

東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目5-1 1F・地下2階 0422-66-5042 joji.uplink.co.jp